

千葉県におけるニホンリス (*Sciurus lis*) の生息状況の変遷 (2024・2025年)

矢竹一穂*・秋田 毅・古川 淳

株式会社セレス 環境部

〒270-1166 我孫子市我孫子 1646

*E-mail: yatake@ceresco.jp

(2025年11月19日投稿；12月25日改訂；2026年1月5日受理)

要旨 千葉県内において環境庁3次メッシュ(約1×1km)を調査単位として、2001～2003年、2009～2011年、2018～2019年、2024～2025年の4回にわたってニホンリス(*Sciurus lis*)の分布を調査した。生息の確認は主にマツ類球果の食痕によった。4回の調査メッシュ総数は県北部で70メッシュ、県南部で114メッシュとなり、このうち4回の累積でそれぞれ29メッシュ、89メッシュで生息が確認された。2024～2025年には市民等からの生息情報が得られたことから新しい生息確認メッシュの増加もあったが、県北・南部ともに生息確認メッシュ数の減少が見られた。特に県北部は前回調査に対する生息確認メッシュの減少率が45.5%と高く、調査対象となるメッシュ数(森林)も減少した。

キーワード：ニホンリス, *Sciurus lis*, 生息状況, 変遷, 千葉県

ニホンリス(*Sciurus lis* 以下、リスと略記)は種としての絶滅が危惧される段階ではないが、都道府県のレッドデータブックでは、リスが分布しない北海道と沖縄県を除く45都府県のうちの14都府県で掲載されている(日本のレッドデータ検索システム)。千葉県でもレッドリストにおいてランクC：要保護生物(生息数が少ない、生息環境が限られている、生息地の多くで環境変化の可能性がある等)に選定されている(千葉県環境生活部自然保護課, 2019)。

著者らは、これまで千葉県のレッドデータブック・リストの改訂作業に関わり、その一環として2001～2003年(以下、2001年調査)、2009～2011年(以下、2009年調査)、2018～2019年(以下、2018年調査)に県内のリスの生息状況を調査した(矢竹ほか, 2005; 矢竹ほか, 2011; 矢竹, 2012; 矢竹ほか, 2020)。本報告ではレッドデータブックの改訂作業を機会に2024～2025年(以下、2024年調査)に実施した調査結果を報告する。

調査方法

調査対象地域および調査方法は以下のように過去3回(2001・2009・2018年調査)(矢竹ほか, 2005; 矢竹ほか, 2011; 矢竹, 2012; 矢竹ほか, 2020)に準じた。

調査対象地域は千葉県全域とし、便宜上、市原市北部

と大網白里市付近を結ぶ線で分け県北部・県南部とした。調査単位は環境庁(1977)の3次メッシュ(約1×1km)とし、調査対象メッシュとして県内でリスの主要な食物であるマツ球果(種子を採食)の食痕が得られるマツ林を選定するため、千葉県史料研究財団(2003)による1970～1990年代の調査結果からマツ林が分布するメッシュを抽出した(矢竹ほか, 2005)。

前回調査で生息が確認されたメッシュを対象としたが、既にマツ林あるいは森林が消失し調査ができなかった場合は、適宜隣接するメッシュにも範囲を広げた。

現地調査の方法は踏査によりアカマツ(*Pinus densiflora*)、クロマツ(*P. thunbergii*)などマツ類球果、オニグルミ(*Juglans mandshurica*)殻果、モミ(*Abies firma*)球果の食痕およびスギの樹皮剥ぎの生活痕跡を探索した。探索時間は調査対象林分に到着してからの(林分の選定や移動時間を除く)時間とし30分を目安とした(矢竹ほか, 2011)が、前回の調査林分が残存しており生活痕跡を確認した採食木等も残存している場合や、対象が並木や単木状の場合はこの時間より短時間となった。これ以外は特に調査地ごとに探索時間を変えることはなく、調査林分面積が広い場合もリスが特に選好性の強い採食木(マツ類やオニグルミ)を集中的に利用することから(Kato, 1985; 矢竹ほか, 1999)、これらの採食木の探索によって目安とした時間内で、ある程度広域を代表させることが

可能と考えた。また、目視確認のうち、年代が明確であり確度が高いと判断される聞き取り調査の結果および市民等からの生息情報で写真等による精度の高いものを採用した。

調査結果の集計として生息確認率および前回調査に対する生息確認メッシュ数の減少率を算出した。生息確認率は調査メッシュ数に対する生息確認メッシュ数の割合だが調査年によって調査対象メッシュ（新たなメッシュも含まれる）や調査メッシュ数が異なるため、調査年間の比較ではなく単年度の評価と位置付け、調査年間の比較は生息確認メッシュ数の実数および生息確認メッシュ数の減少率で行った。

生息環境の指標として、マツ林の状況を相観で以下の5ランク（矢竹ほか、2005）で記録した。

A：ほぼ健全なマツ林が維持されている（人為管理や外来種の植栽を含む）、B：マツは小塊状（植栽の場合は疎林または列状）、C：マツは単木で点在するのみ、D：外観からはマツが認められず、常緑または落葉広葉樹林が生育（マツ枯れがほぼ終息し、遷移が進行したものと思われる。林内には古い伐根や倒木のみ見られる）、またはスギ・ヒノキ植林への転換、E：開発などによる林分の消失・分断・孤立。

なお、本県では2001～2010年にかけて町から市への変更と市町村合併が行われたが、本報告では旧市町村名を併記した。

調査結果および考察

1. 生息状況の変遷

2001・2009・2018・2024年で調査した総メッシュ数は県北部で70メッシュ、県南部で114メッシュとなった（一覧を表1、表2、概要を表3に示す）。このうち、これまでにリスの生息が確認されたためメッシュ数は県北部で29メッシュ、県南部で89メッシュであった。

リスの生息確認は、ほとんどマツ球果の食痕によったがマツが消失したメッシュではオニグルミやモミの食痕によった。

市民等からの生息情報は表1の印旛郡栄町（通番8）、香取市助沢（通番17）、千葉市若葉区中野町（通番51）であり、栄町については千葉県立房総のむらで2021年7月30日に自動撮影されたものであるが、2024年調査では生息確認されなかった。

県北部の概要（表3）として生息確認メッシュ数は2001年調査では25、2009年調査では20、2018年調査では11、2024年調査では6であり、2024年調査では市民等からの生息情報があり、新しく確認された生息地点が増加したものの全体に減少傾向がみられた。また前回調査に対する生息確認メッシュ数の減少率は2009年調査では20.0%、2018年調査では45.0%、2024年調査では45.5%であり、千葉県レッドデータブック改訂委員会編（2011）にあるランクCのカテゴリー基準「最近10～30年間に20%以上の減少があった」に該当し、継続

してランクCが適切と考えられる。

県南部の概要（表3）として生息確認メッシュ数は2001年調査では57、2009年調査では54、2018年調査では40、2024年調査では37であった。また前回調査に対する生息確認メッシュ数の減少率は2009年調査では5.3%、2018年調査では25.9%、2024年調査では7.5%であり、県北部に比べ減少率は低かった。

県南部においては前回の生息メッシュが消失または生息が確認されなかった場合、隣接したメッシュの探索により新規の生息メッシュが確認され、生息メッシュの総数は県北部ほどの減少がみられていない。県南部は房総丘陵地域を主体に本県でも森林が連続する地域でこれまでの調査でも主要なリスの生息地とされてきた（矢竹・高橋、1987；五十嵐、1999；矢竹、2002；矢竹ほか、2005）。しかし、矢竹（2012）の調査では一部地域で前回生息確認メッシュ数10に対して、生息確認メッシュ数は4となり減少率60%（6メッシュの減少）ともなった。ここでは周辺で新たに12の生息メッシュが得られ、生息が維持されているとの判断もあるが、生息確認メッシュ数の減少は明確であり、いずれ県北部のような著しい減少も懸念される（矢竹、2012）。これまで比較的安定した生息域とされてきた房総丘陵などでも継続した調査が必要である。

2. 生息環境の変遷

生息環境の指標としたマツ林の状況は相観による簡易な記載であり県北・南部で異なる傾向もあるが、いずれもマツ林の衰退、消失が進行していた（表3）。県北部ではランクA（健全）が2001・2009・2018・2024年調査で、それぞれ22.6%、26.1%、23.7%、18.8%でそれほど変化はないが、ランクB（小塊状）が24.5%、23.9%、5.3%、6.3%と減少し、ランクC（単木点在）（32.1%、37.0%、47.4%、50.0%）への移行が見られる。ランクE（林分の消失）は9.4%、2.2%、18.9%、12.5%であり、増加が顕著である。

一方、県南部ではランクAは2001年調査時から割合は低く（5.1%、2.5%、0.0%、0.0%）、ランクBの減少（46.8%、21.5%、11.8%、12.8%）に対して、ランクC（30.4%、60.8%、57.4%、63.8%）・D（マツ消失）（12.7%、15.2%、30.9%、23.4%）も増加し、県北部よりマツ林減少の進行が先行して著しい。

矢竹（2012）は千葉県の林業統計から1985～2009年におけるマツ林面積の特に県北部での急激な減少を報告している。一方で県南部ではリスの生息が比較的安定していた2000年代（2001年調査）において、既に県北部に先行してマツ林が減少しシイ・カシ二次林やコナラ林に入れ替わっていることも報告しており、県南部ではマツ林に依存せず個体群が維持されているのかが今後の課題である。

千葉県におけるニホンリスの生息状況の変遷（2024・2025年）

表 1. 千葉県北部におけるニホンリスの生息状況の変遷一覧.

通番	3次メッシュコード	場所 ¹⁾	生息状況 ²⁾				調査日	本調査における確認方法			生息環境の概況 ^{2), 3)}				備考
			2001~2003年	2009~2011年	2018年	2024年		マツ食痕	ホクシメ食痕	聞き取り	2001~2003年	2009~2011年	2018年	2024年	
1	534021 08	市原市高倉	●	●	×	—					A	B	C	—	
2	534021 18	市原市高倉	×	—	—	—					E	—	—	—	
3	534051 34	印西市(印旛村)岩戸	×	—	—	—					C	—	—	—	
4	534051 33	印西市草深	●	●	×	×	2024. 9. 23				B	B	A	A	2016. 10. 15日視 ⁴⁾
5	534051 42	印西市草深	●	×	●	×	2024. 9. 23				B	B	C	C	
6	534051 22	印西市吉田	—	—	×	—					—	—	A	—	2011. 1. 20マツ食痕確認 ⁴⁾
7	534052 92	印旛郡栄町竜角寺台	×	—	—	—					C	—	—	—	
8	534052 81	印旛郡栄町竜角寺	●	×	×	●	—			○*	A	A	A	A	*2021. 7. 30自動撮影確認 ⁵⁾
9	534052 82	印旛郡栄町竜角寺	●	×	×	×	2024. 2. 3				A	A	A	A	
10	533967 75	柏市若葉	×	—	—	—					A	—	—	—	1985. 1. 12日視 ⁶⁾
11	534063 52	香取郡神崎町植房	●	×	×	—					B	B	D	—	
12	534063 43	香取郡神崎町古原	●	●	—	—					B	B	—	—	2018年は立入不可
13	534063 42	香取郡神崎町古原立向	—	—	●	×	2024. 9. 23				—	—	C	C	
14	534043 55	香取郡多古町	—	×	—	—					—	B	—	—	
15	534055 34	香取郡東庄町小南	—	—	×	—					—	—	C	—	1984. 11. 19日視 ⁶⁾
16	534064 30	香取市(佐原市)大根	—	×	—	—					—	D	—	—	
17	534054 80	香取市(栗源町)助沢	—	—	—	●	—			○	—	—	—	D	オニグルミ単木, 目視・撮影 ⁷⁾
18	534054 41	香取市(山田町)山倉	—	×	—	—					—	—	C	—	
19	533957 18	鎌ヶ谷市中沢	×	—	—	—					A	—	—	—	
20	534041 69	佐倉市飯田	—	×	—	—					—	C	—	—	
21	534041 79	佐倉市飯田	—	×	—	—					—	A	—	—	
22	534041 98	佐倉市飯野	—	×	—	—					—	A	—	—	
23	534031 69	佐倉市飯野	×	—	—	—					C	—	—	—	
24	534031 68	佐倉市内田	●	●	×	—					A	A	C	—	
25	534042 00	佐倉市直弥	—	×	—	—					—	B	—	—	
26	534042 11	佐倉市直弥	—	×	—	—					—	C	—	—	
27	534043 62	山武郡芝山町岩山	—	×	—	—					—	D	—	—	
28	534043 74	山武郡芝山町小原	—	×	—	—					—	A, C	—	—	
29	534033 98	山武郡横芝光町(横芝町)坂田	×	—	—	—					C	—	—	—	
30	534033 41	山武市(成東町)川崎	●	●	●	×	2024. 10. 12				B	C	C, E	C, E	
31	534033 32	山武市(成東町)和田	●	●	●	×	2024. 10. 5				D	D	D, E	D, E	オニグルミは残存
32	534044 82	匝瑳市(八日市場市)飯高	—	×	×	—					—	D	D	—	
33	534044 62	匝瑳市(八日市場市)松山	—	×	—	—					—	D	—	—	
34	534044 53	匝瑳市(八日市場市)松山	—	×	—	—					—	C	—	—	
35	534021 19	千葉市緑区大木戸町	●	●	×	—					C	C	C	—	
36	534021 28	千葉市緑区大野台	●	●	●	●	2024. 9. 29	○			C	C	C	C	
37	534022 23	千葉市緑区小食土町	●	●	×	—					C	C, E	C, E	—	
38	534022 61	千葉市緑区下大和田町	×	—	—	—					D	—	—	—	
39	534021 67	千葉市緑区高田町	×	—	—	—					C	—	—	—	
40	534021 77	千葉市緑区高田町	×	—	—	—					C	—	—	—	
41	534021 85	千葉市緑区平山町	●	●	●	●	2024. 9. 29	○			A	A	A	B	
42	534021 66	千葉市緑区菅田町	●	●	×	—					B	C	C	—	
43	534031 47	千葉市若葉区大井戸町	●	●	×	—					A	B	C, E	—	
44	534031 25	千葉市若葉区大草町	×	—	—	—					C	—	—	—	
45	534031 26	千葉市若葉区北谷津町	●	●	×	—					B, C	B, C	C, E	—	
46	534031 58	千葉市若葉区下泉町	●	●	×	—					B	C	C, E	—	
47	534031 59	千葉市若葉区下泉町	×	—	—	—					E	—	—	—	
48	534031 77	千葉市若葉区且谷町	●	●	×	—					B	B	C	—	
49	534032 20	千葉市若葉区富田町	●	●	×	—					B	C	C	—	
50	534032 30	千葉市若葉区富田町	×	—	—	—					C, D	—	—	—	
51	534022 82	千葉市若葉区中野町	—	—	●	●	2024. 9. 29	○			—	—	C	C	2018年目視(聞き取り) ⁸⁾
52	534046 59	銚子市君ヶ浜	—	×	×	—					—	A	A	—	
53	534045 88	銚子市猿田町	—	×	×	—					—	C	C	—	
54	534055 46	銚子市諸持	—	●	●	×	2024. 10. 14				—	A	A	D	2018年目視(聞き取り)
55	534033 10	東金市家之子	●	●	●	×	2024. 10. 12				A, C	A, C	C	C	
56	534032 07	東金市滝沢	●	●	●	●	2024. 10. 12	○			C	C	B	C	
57	534032 17	東金市滝沢	×	—	—	—					E	—	—	—	
58	534022 64	東金市山田	×	—	—	—					C, E	—	—	—	
59	534063 00	成田市(下総町)成井	×	—	—	—					D	—	—	—	
60	534063 33	成田市(大栄町)奈土	●	●	●	×	2024. 9. 22				A	A	A	C	
61	534053 40	成田市堀之内	—	×	—	—					—	C	—	—	
62	533977 50	野田市金杉	●	×	×	—					A	A	A	—	
63	533967 93	野田市下三ヶ尾	×	—	—	—					D	—	—	—	
64	534050 15	船橋市大神保町	×	—	—	—					B	—	—	—	1987年目視 ⁹⁾
65	534040 51	船橋市芝山	×	—	—	—					D, E	—	—	—	
66	534040 74	船橋市坪井町	×	—	—	—					C	—	—	—	
67	534032 03	八街市上砂	×	—	—	—					C	—	—	—	
68	534050 06	八千代市桑橋	×	—	—	—					A	—	—	—	
69	534041 90	八千代市米本	●	×	×	—					B	B	B	—	
70	534051 00	八千代市米本	×	—	—	—					B	—	—	—	
調査メッシュ数(A)			48	42	32	15				A	12	12	9	3	
生息確認メッシュ数(B)			25	20	11	6				B	13	11	2	1	
非生息確認メッシュ数			23	22	21	9			生息環境の概要内訳(メッシュ数)	C	17	17	18	8	
生息確認率:B/A×100(%)			52.1	47.6	34.4	40.0				D	6	5	3	2	
										E	5	1	6	2	
										合計	53	46	38	16	

1) 括弧内は旧市町村名。

2) 2001~2003年: 矢竹ほか(2005), 2009~2011年: 矢竹ほか(2011); 矢竹(2012), 2018年: 矢竹ほか(2020), 2024年: 本調査。

●: 生息確認, ×: 非生息確認, -: 未調査。

3) マツ林の現状から以下に区分される(同一メッシュで複数のランクを含む場合もあるため, 生息環境の概要内訳の合計が異なる)。

A: ほぼ健全なマツ林が維持されている(人為管理や外来種の植栽を含む), B: マツは小塊状(植栽の場合は疎林または列状),

C: マツは単木で点在するのみ, D: 外観からはマツが認められず, 常緑または落葉広葉樹林が生育, またはスギ・ヒノキ植林への転換(マツ枯れがほぼ終息し, 遷移が進行したと思われる。林内には古い伐根や倒木のみ見られる), E: 開発などによる林分の消失・分断・孤立。

4) 矢竹(未発表)

5) 房総のむら(2024)

6) 矢竹ほか(2005)

7) 布留川 明 私信(2023)

8) 網代(2018)

9) 五十嵐(1999)

表2. 千葉県南部におけるニホンリスの生息状況の変遷一覧.

調査コード	3次メッシュコード	場所 ¹⁾	生息状況 ²⁾				調査日	本調査における確認方法			生息環境の概況 ³⁾				備考
			2001~2002年	2010~2011年	2018~2019年	2024~2025年		マツ	ワザミ	その他	2001~2002年	2010~2011年	2018~2019年	2024~2025年	
1	523956	77 安房郡鋸南町元名	●	●	×	—					B	C	D	—	
2	524063	31 いすみ市(大原町)岩舟	●	●	×	—					B	C	D	—	
3	524072	03 いすみ市(夷隅町)大野	●	●	●	—	2025.1.3	○			C	D	D	D	
4	524072	24 いすみ市(夷隅町)小倉	×	—	—	—					E	—	—	—	
5	524063	50 いすみ市(大原町)小沢	●	×	×	—					B	D	D	—	
6	524062	39 いすみ市(大原町)久保	●	×	×	—					B	D	D	—	
7	524063	30 いすみ市(大原町)小池	●	—	×	—					B	C	D	—	
8	524063	40 いすみ市(大原町)小池	●	×	●	—	2025.1.16	○			—	—	C	C	
9	524062	98 いすみ市(大原町)沢部	●	—	×	—					C	D	D	—	
10	524062	89 いすみ市(大原町)釈迦谷	●	●	●	—	2025.1.16	○			B	C	C	C	
11	524062	79 いすみ市(大原町)釈迦谷	—	—	×	—					—	B	C	—	
12	524063	41 いすみ市(大原町)中ノ谷	●	×	×	—					B	D	D	—	
13	524062	66 いすみ市(大原町)名熊	●	●	×	—					A	C	C	—	
14	524062	76 いすみ市(大原町)名熊	●	●	×	—					C	C	C	—	
15	524062	99 いすみ市(大原町)新田	●	×	×	—					B	C	D	—	
16	524072	47 いすみ市万木	—	—	—	●	2025.1.16	○			—	—	—	C	
17	524071	04 夷隅郡大多喜町坂谷	●	●	●	●	2025.1.4	○			B	B	B	B	
18	524071	38 夷隅郡大多喜町大多喜	—	—	●	●	2025.1.4	○			—	—	C	C	
19	524072	61 夷隅郡大多喜町下大多喜	●	●	×	—	2025.1.3				B	C	C	D	
20	524061	28 夷隅郡大多喜町平沢	●	●	●	●	2025.1.13			○	B	C	C	C	スギ剥皮
21	524061	38 夷隅郡大多喜町平沢	●	×	—	—					C	D	—	—	
22	524063	20 夷隅郡御宿町岩和田	—	×	×	—					B	C	D	—	
23	524063	10 夷隅郡御宿町岩和田	—	—	●	●	2025.1.16	○			—	—	C	C	
24	524071	10 市原市石塚	●	●	●	●	2025.2.15	○			B	C	C	C	
25	524071	20 市原市石塚	●	●	●	●	2025.2.15	○			B	C	C	C	
26	534001	42 市原市岩	●	●	●	●	2024.12.30	○			B	B	B	C	
27	534011	02 市原市牛久	●	●	×	—					B	C	C	—	
28	524071	00 市原市梅ヶ瀬	●	●	●	×	2025.2.8				C	C	C	C	
29	524071	01 市原市梅ヶ瀬	●	●	●	●	2025.2.15	○			—	—	—	B	アカマツ、テラダマツ食痕
30	524071	21 市原市大久保	—	—	×	—					B	B	C	—	
31	534001	23 市原市大和田	●	×	—	—					D	D	—	—	
32	534010	56 市原市海保	×	—	—	—					C	—	—	—	
33	534010	57 市原市海保	×	—	—	—					C, E	—	—	—	
34	524071	60 市原市榑木台	●	●	●	—	2025.1.4	○			B, C	C	C	C	テラダマツ食痕
35	534010	08 市原市上高根	—	—	×	—					—	B	D	—	
36	534000	87 市原市上高根	—	—	×	—					—	C	C	—	
37	524071	84 市原市古敷谷	●	●	●	●	2025.1.3	○			B	C	C	D	新しい伐採木の食痕
38	524061	81 市原市五郎津	●	×	—	—					C	D	—	—	
39	524061	91 市原市五郎津	—	—	×	—					—	C	C	—	
40	524071	52 市原市田淵	×	—	—	—					D	—	—	—	
41	524071	53 市原市田淵	×	—	—	—					D	—	—	—	
42	524071	54 市原市月出	●	●	●	●	2025.1.4	○			B	B	C	C	
43	524071	64 市原市月出	×	—	—	—					D	—	—	—	
44	534011	01 市原市上宇	●	●	●	—	2024.12.30	○			C	C	C	C	
45	534000	77 市原市寺谷	●	●	●	×	2025.1.3				B	B	B	C	2018年目視(聞き取り)
46	524061	92 市原市戸面	●	●	●	—	2025.1.4	○		○	B	C	D	D	モミ食痕
47	534001	92 市原市奉免	●	●	●	●	2024.12.30	○			B	B	B	B	
48	534001	01 市原市本郷	×	—	—	—					D	—	—	—	
49	524070	79 市原市万田野	●	●	●	×	2025.2.8				C	C	C	C	
50	534011	70 市原市山倉	●	×	—	—					A	B	—	—	
51	534011	71 市原市山倉	●	×	—	—					B	C	—	—	
52	534011	80 市原市山田橋	●	×	—	—					B	C	—	—	
53	534001	11 市原市養老	●	×	—	—					C	D	—	—	
54	524052	72 勝浦市鶴原	—	●	×	—					—	C	D	—	
55	524061	18 勝浦市大森	●	●	●	—	2025.1.29	○			C	C	C	C	
56	524061	8 勝浦市大森	—	—	—	—	2025.1.29	○			—	—	—	C	
57	524062	14 勝浦市平田	—	×	×	—					—	C	C	—	
58	524052	61 勝浦市守谷	—	×	—	—					—	C	—	—	
59	524050	84 鴨川市太田学	×	—	—	—					D	—	—	—	
60	524050	78 鴨川市切通	●	●	—	—	2025.1.29	○			B	B	B	B	
61	524040	83 鴨川市西江見	●	×	—	—					C	D	—	—	
62	524040	92 鴨川市畑谷	×	—	—	—					D	—	—	—	
63	524051	50 鴨川市東町	—	—	—	●	2025.1.29	○			—	—	C	C	
64	524051	60 鴨川市袋倉	●	×	—	—					C	D	D	—	
65	524040	97 鴨川市大海	●	×	—	—					B	C	—	—	
66	524040	85 鴨川市山居	×	—	—	—					D	—	—	—	
67	534000	19 木更津市真理谷	●	●	×	—					B	C	C	—	
68	534000	08 木更津市真理谷・泉谷	●	●	●	●	2024.12.30	○			B	C	C	C	
69	524060	51 君津市大岩	×	—	—	—					C	—	—	—	
70	523967	86 君津市鹿野山	—	—	×	—					—	C	D	—	
71	523967	87 君津市鹿野山	—	●	×	—	2025.1.25				—	C	C	C	
72	523977	08 君津市鹿野山	—	●	×	—	2025.1.19				—	C	C	D	
73	523977	08 君津市鹿野山	—	●	●	●	2025.1.19				—	C	C	C	
74	523977	07 君津市鹿野山	—	—	—	—	2025.1.19	○			—	—	—	C	
75	523977	05 君津市鹿野山	—	—	—	—	2025.1.25	○			—	—	—	C	
76	524060	88 君津市坂畑	—	—	●	—	2025.1.13	○			—	—	B	C	
77	524060	35 君津市笹	—	●	●	×	2025.1.25				—	B	B	C	
78	524060	45 君津市笹	—	—	—	—	2025.1.25	○			—	—	B	C	
79	524070	29 君津市長者	—	—	×	—					B	—	C	—	
80	524060	21 君津市農芸	●	×	—	—					B	B	C	—	
81	523977	09 君津市商業倉	●	●	×	×	2025.1.25				B	B	C	D	
82	524070	10 君津市日渡根	×	—	—	—					C	—	—	—	
83	524070	11 君津市日渡根	×	—	—	—					C	—	—	—	
84	524060	40 君津市怒田沢	●	●	×	—					C	C	D	—	
85	524060	71 君津市二入	×	—	—	—					C	—	—	—	
86	523936	45 館山市小原	●	×	—	—					B	B	—	—	
87	523937	20 館山市神倉畑	—	×	—	—					—	C	—	—	
88	523936	34 館山市坂井	●	×	—	—					A	B	—	—	
89	523936	35 館山市坂井	—	×	—	—					—	A	C	—	
90	523936	07 館山市大神宮	—	●	●	●	2025.2.10			○	—	C	D	D	目視, ヲハシ食痕, 4)
91	523926	96 館山市布良	●	×	—	—					A	C	—	—	
92	523937	82 館山市山本	●	●	●	—	2025.2.9	○			—	C	C	C	
93	534002	10 長生郡長南町市野々	—	●	●	×	2025.1.3				B	C	C	D	
94	534001	29 長生郡長南町佐坪	●	×	—	—					C	D	—	—	
95	534002	20 長生郡長南町美原台	×	—	—	—					E	—	—	—	
96	534002	30 長生郡長南町美原台	×	—	—	—									

表 3. 千葉県におけるニホンリスの生息状況の変遷概要.

区域	項目	2001～ 2003年	2009～ 2011年	2018～ 2019年	2024～ 2025年
県北部					
生息状況					
	調査メッシュ数 (A)	48	42	32	15
	生息確認メッシュ数 (B)	25	20	11	6
	非生息確認メッシュ数	23	22	21	9
	生息確認率 (B/A%)	52.1	47.6	34.4	40.0
	生息メッシュ数の減少率 (前回調査比%)	-	20.0	45.0	45.5
生息環境 ¹⁾					
	ランクA (健全)	12(22.6)	12(26.1)	9(23.7)	3(18.8)
	ランクB (小塊)	13(24.5)	11(23.9)	2(5.3)	1(6.3)
	ランクC (単木点在)	17(32.1)	17(37.0)	18(47.4)	8(50.0)
	ランクD (消失)	6(11.3)	5(10.9)	3(7.9)	2(12.5)
	ランクE (林分の消失)	5(9.4)	1(2.2)	6(18.9)	2(12.5)
	合計	53	46	38	16
県南部					
生息状況					
	調査メッシュ数 (A)	77	79	68	47
	生息確認メッシュ数 (B)	57	54	40	37
	非生息確認メッシュ数	20	25	28	10
	生息確認率 (B/A%)	74.0	68.4	58.8	78.7
	生息メッシュ数の減少率 (前回調査比%)	-	5.3	25.9	7.5
生息環境 ¹⁾					
	ランクA (健全)	4(5.1)	2(2.5)	0(0.0)	0(0.0)
	ランクB (小塊)	37(46.8)	17(21.5)	8(11.8)	6(12.8)
	ランクC (単木点在)	24(30.4)	48(60.8)	39(57.4)	30(63.8)
	ランクD (消失)	10(12.7)	12(15.2)	21(30.9)	11(23.4)
	ランクE (林分の消失)	4(5.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	合計	79	79	68	47

1) ランクの詳細は本文参照, 数値はメッシュ数と括弧内%を示す.

合計は同一メッシュで複数のランクを含む場合もあり, 生息状況の調査メッシュ数と異なる.

謝辞

本調査の一部は千葉県レッドリスト動物編改訂哺乳類分科会の一環で実施したものであり, 調査の機会とご指導を頂いた千葉県立中央博物館の下稲葉さやか氏に感謝申し上げます. 生息情報を提供して頂いた千葉県立房総のむらの下村行雄氏, 布留川 明氏に感謝申し上げます.

引用文献

- 網代春男. 2018. 下大和田にリス出現. ちば環境情報センターニューズレター 247: 2-3.
- 千葉県環境生活部自然保護課(編). 2019. 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドリスト—動物編 2019年改訂版. 40 pp. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉市.
- 千葉県史料研究財団(編). 2003. 千葉県の自然誌. 別編4 千葉県植物誌. 1181 pp., 千葉県, 千葉.
- 千葉県立房総のむら. 2024. 令和5年度トピックス展 むらのけものたち. 解説書.
- 千葉県レッドデータブック改訂委員会. 2011. 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—動物編 2011年改訂版. 538 pp. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉市.
- 五十嵐和廣. 1999. 千葉県の哺乳類. 所収 千葉県生物学会(編著), 千葉県動物誌, pp. 1108-1118. 文一総合出版, 東京.

- 一般財団法人千葉県観光公社. (2025 入手). 千葉県立館山野鳥の森. パンフレット.
- 環境庁. 1977. 都道府県別メッシュマップ 12 千葉県. 87 pp. 環境庁自然保護局計画課自然環境調査室, 東京.
- Kato, J. 1985. Food and hoarding behavior of Japanese squirrels. Jap. J. Ecol. 35: 13-20.
- 日本のレッドデータ検索システム. ニホンリス. <https://jpnrd.com> (最終閲覧日: 2026.1.2)
- 矢竹一穂. 2002. リス科 ニホンリス. 所収 千葉県の自然誌本編6, 千葉県の動物1, 陸と淡水の動物, 県史シリーズ45 (千葉県史料研究財団編), pp. 899-900. 千葉県史料研究財団, 千葉市.
- 矢竹一穂. 2012. 千葉県南部におけるニホンリス (*Sciurus lis*) の生息状況の変遷. 哺乳類科学 52: 215-222.
- 矢竹一穂・秋田 毅・阿部 學. 1999. 人工放獣されたニホンリスの空間利用. 哺乳類科学 39: 9-22.
- 矢竹一穂・秋田 毅・古川 淳・浅田正彦. 2005. 千葉県におけるニホンリス (*Sciurus lis*) の分布状況. 千葉中央博自然誌研究報告 8: 41-48.
- 矢竹一穂・秋田 毅・古川 淳. 2011. 千葉県におけるニホンリス (*Sciurus lis*) の生息状況の変遷. 千葉中央博自然誌研究報告 11: 19-30.
- 矢竹一穂・秋田 毅・古川 淳. 2020. 千葉県におけるニホンリス (*Sciurus lis*) の生息状況 2001～2019年の変遷. 千葉中央博自然誌研究報告 15: 11-17.
- 矢竹一穂・高橋啓二. 1987. 都市近郊におけるニホンリスの生息環境. 第98回日本林学会大会発表論文集 pp. 529-530.

**Change in the Distribution of the Japanese Squirrel (*Sciurus lis*) in
Chiba Prefecture, Central Japan 2024・2025**

Hitoho Yatake*, Tsuyoshi Akita, and Jun Furukawa

Environmental Research Department, CERES, Inc. (Civil Engineering
Research & Environmental Studies)

1646 Abiko, Abiko, Chiba, 270-1166 Japan

*E-mail: yatake@ceresco.jp

The distribution of Japanese squirrels (*Sciurus lis*) in Chiba Prefecture was surveyed across four distinct periods: 2001 to 2003, 2009 to 2011, 2018 to 2019, and 2024 to 2025. The surveys employed the tertiary mesh system (approximately 1 x 1 km) offered by the Ministry of the Environment, Japan, as the unit of analysis. Squirrel presence was primarily confirmed through the identification of feeding traces on pine cones. Over the course of these surveys, a total of 70 meshes were examined in the northern region of the prefecture, while 114 meshes were assessed in the southern region. Cumulatively, squirrel presence was confirmed in 29 meshes in the northern part and 89 meshes in the southern part. Although newly confirmed inhabitation meshes were identified during the 2024 to 2025 survey period, facilitated by information from local citizens and other sources, there was an overall decline in the number of confirmed inhabitation meshes in both the northern and southern regions. Notably, the northern region experienced a significant decrease in confirmed inhabitation meshes, with a reduction of 45.5% compared to the previous survey period, alongside a decrease in the number of surveyed meshes (forests).